

オーストラリア 先住民族の言語の国際年 2019 スピーカー・シリーズ

映画鑑賞会 & 講演会 @神戸大学

2019年 **11** 月 **27** 日 [水]
15:00~19:00 (14:30 開場)



場所 神戸大学大学院国際文化科学研究科
鶴甲第一キャンパス
E棟4階 学術交流ルーム(E410)

参加料 無料 ※事前申込は不要です

主催 2019 INTERNATIONAL YEAR OF
Indigenous Languages
オーストラリア大使館

●映画鑑賞 15:00~17:00

Sweet Country

2017年/オーストラリア映画/英語・アラント語/
113分/日本語字幕つき

監督: ウォーリック・ソーントン

出演: サム・ニール、ブライアン・ブラウン、ハミルトン・モリス、トーマス・M・ライト、ユエン・レスリー

●講演 17:20~18:20

スティーブン・マックグレガー氏

(作家・監督) ※逐次、通訳あり

●質疑応答 18:30~19:00



神戸市バス ((阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から)
鶴甲第1キャンパスへのアクセス

16系統、106系統六甲ケーブル下行き乗車 → 「神大国際文化科学研究科前」下車

【協力】RED APOLLO GROUP、BUNYA PRODUCTIONS、東京国際映画祭、岸田恵子
神戸人類学研究会

【問い合わせ】平野 智佳子 (神戸大学大学院博士後期課程) hiranochi@gmail.com

オーストラリア 先住民族の言語の国際年 2019 スピーカー・シリーズ



スウィート・カントリー Sweet Country

2017年 オーストラリア、113分、英語、アランタ語、日本語字幕付

スタッフ 監督／撮影：ウォーリック・ソートン、プロデューサー：グリアー・シンプキン、プロデューサー：デヴィッド・ジョウジー、脚本／録音：デヴィッド・トランター、脚本：スティーヴン・マックレガー、撮影監督：ディラン・リヴァー、編集：ニック・マイヤーズ、プロダクション・デザイナー：トニー・クロニン、録音：ウィル・シェリダン

キャスト サム・ニール、ブライアン・ブラウン、ハミルトン・モリス、トーマス・M・ライト、ユエン・レスリー



映画解説

1929年のオーストラリア。白人の退役軍人が粗暴な振る舞いの果てにアボリジニの使用人サムに殺される。サムは身重の妻を連れて直ちに逃亡するが、やがて追っ手が迫る…。

愚かな人種差別をモチーフにした、豪州発の新型ウェスタン・ドラマである。砂漠の中に建てられた町や、保安官、酒場など、アメリカの西部劇でおなじみの光景が繰り広げられる作品ではあるが、物語が「インディアン」の立場から語られる点で大きく異なる。アボリジニは厳密には奴隷ではなかったが、入植者に無料の労働を提供し差別的な法に縛られていた。自身がアボリジニであるウォーリック・ソートン監督は、サムの物語は自分たちの祖父の物語であり、アボリジニの全家族が共有するものだと語る。監督は人種差別を単純悪として処理せず、当時の社会システムの現実を慎重に描き、悲劇の歴史を語り継ぐ。一方、従来の西部劇との共通点としては広大なランドスケープの存在があげられる。オーストラリアの荒涼たる大砂漠は、大スクリーンを圧倒するだろう。ヴェネチア映画祭のコンペティション部門に出品され、審査員特別賞を受賞した。

スティーブン・マックレガー氏（作家・監督）



略歴 ダーウィン出身の作家・映画監督として活躍し、数多くの賞を受賞している。ウォーリック・ソートン監督、デービッド・ジャウジーとグリール・シンプキンにプロデュースされた長編映画「Sweet Country」に、共同脚本家として参加。本作品は、2017年のヴェネチア国際映画祭審査員特別賞や、トロント国際映画祭プラットフォーム賞を受賞した。また、BFI ロンドン映画祭や、その他の国際映画祭でも出品・上映されたこの作品は2018年、さらにオーストラリア作家協会賞（AWGIE）及びオーストラリア映像テレビ芸術アカデミー賞（AACTA）オリジナル長編映画脚本賞と最優秀映画作品賞を受賞した。オーストラリア国営放送（ABC）のコメディ・ドラマ・シリーズ

「Warriors」の監督として、エピソードを2つ手がけた。また、絶賛を受けたABCテレビドラマ「Mystery Road」のために、2話の脚本を担当。グリール・シンプソン及びデービッド・ジャウジー製作、レーチェル・パーキンズ監督による本ドラマは、AACTA テレビドラマ・シリーズ最優秀賞やロギー人気ドラマ・シリーズ賞を受賞した。2013年に、「Redfern Now」というドラマ・シリーズのエピソード「Pretty Boy Blue」の脚本執筆に関り、ACTAA 脚本賞に輝いた。この二つのABCドラマ・シリーズのために、合計4つのエピソードの脚本を手がけた。また「Redfern Now」のスピノフ・テレビ映画「Promise Me」の脚本も手がけ、絶賛を受けた。その他にドキュメンタリーの製作・監督も行っており、国内外の映画祭で上映されている。

在日オーストラリア大使館

協力：RED APOLLO GROUP、BUNYA PRODUCTIONS、東京国際映画祭、岸田恵子、神戸人類学研究会